

教育科目	簿記 I		教育内容	簿記 I			講義
学 科 開講学年	地域経済学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	72 コマ	単位数	4 単位
授業目標	1. 小規模株式会社会計の知識を習得する。 2. 日商簿記 3 級試験程度の問題を解けるようになる。						
授業概要	テキストを中心に基礎から簿記についての知識を学んでゆく。 小テストも行いながら、習得度の確認をしていく。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験結果と平常点をもって判断する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	桑原知之「日商簿記 3 級にとおるテキスト・日商簿記 3 級にとおるトレーニング」 (ネットスクール)						

教育科目	ライフプランニング		教育内容	ライフプランニング			講義
学 科 開講学年	地域経済学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	<p>3. 社会保険、国民年金等の知識を習得する。</p> <p>4. ファイナンシャルプランナー技能士検定試験の問題が解けるようになる。</p>						
授業概要	<p>テキストを中心に、社会保険や国民年金等の知識を学んでいく。</p> <p>問題集などを解くことで、習得度の確認を行っていく。</p>						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	<p>評定方法</p> <p>定期試験結果と平常点をもって評価を行う。</p>						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	<p>ファイナンシャルバンクインスティテュート「うかる FP3 級王道テキスト 2022-2023」 （日本経済新聞出版社）</p> <p>ファイナンシャルバンクインスティテュート「うかる FP3 級王道問題集 2022-2023」 （日本経済新聞出版社）</p>						

教育科目	リスクマネジメント		教育内容	リスクマネジメント			講義
学 科 開講学年	地域経済学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	5. 生命保険、損害保険等の知識を習得する。 6. ファイナンシャルプランナー技能士検定試験の問題が解けるようになる。						
授業概要	テキストを中心に、生命保険や損害保険等の知識を学んでいく。 問題集を解くことで、習得度を確認していく。						
成績評価 方法	定期テスト		前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回	後期	回	前期	回・後期 回
	評定方法 定期試験結果と平常点をもって評価を行う。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	ファイナンシャルバンクインスティテュート「うかる FP3 級王道テキスト 2022-2023」 （日本経済新聞出版社） ファイナンシャルバンクインスティテュート「うかる FP3 級王道問題集 2022-2023」 （日本経済新聞出版社）						

教育科目	タックスプランニング		教育内容	タックスプランニング			講義
学 科 開講学年	地域経済学科 1年	開講期	(前期)・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	<p>7. 所得税、損益通算等の知識を習得する。</p> <p>8. ファイナンシャルプランナー技能士検定試験の問題が解けるようになる。</p>						
授業概要	<p>テキストを中心に、所得税、損益通算等の知識を学んでいく。</p> <p>問題集を解くことで、習得度を確認していく。</p>						
成績評価 方法	定期テスト	(前期)	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	<p>評定方法</p> <p>定期試験結果と平常点をもって評価を行う。</p>						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	<p>(実務経験を有する) ・ (専門知識や資格等を有する)</p>						
使用 テキスト等	<p>ファイナンシャルバンクインスティテュート「うかる FP3 級王道テキスト 2022-2023」 (日本経済新聞出版社)</p> <p>ファイナンシャルバンクインスティテュート「うかる FP3 級王道問題集 2022-2023」 (日本経済新聞出版社)</p>						

教育科目	相続・事業継承		教育内容	相続・事業継承			講義
学 科 開講学年	地域経済学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	9. 相続税・贈与税等の知識を習得する。 10. ファイナンシャルプランナー技能士検定試験の問題が解けるようになる。						
授業概要	テキストを中心に、相続税・贈与税等の知識を学んでいく。 問題集など解くことで、習得度を確認していく。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験結果と平常点をもって評価を行う。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	ファイナンシャルバンクインスティテュート「うかる FP3 級王道テキスト 2022-2023」 （日本経済新聞出版社） ファイナンシャルバンクインスティテュート「うかる FP3 級王道問題集 2022-2023」 （日本経済新聞出版社）						

教育科目	マーケティング論 I		教育内容	マーケティング論 I			講義
学 科 開講学年	地域経済学科 1年	開講期	(前期)・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	11. マーケティングの基礎知識を習得する。 12. 実務の現場で活かせるマーケティング方法を学ぶ。						
授業概要	テキストを中心に基礎からマーケティングの知識を身に着ける グループワーク等を通じて実務的な手法を学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	(前期)	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回し
	評定方法 定期試験と平常点をもって評価を行う。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	安原 智樹「この1冊ですべてわかる 新版 マーケティングの基本」(日本実業出版社)						

教育科目	経済学 I		教育内容	経済学 I			講義
学 科 開講学年	地域経済学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	22 コマ	単位数	1 単位
授業目標	13. 経済学の基本的な知識を習得する。 14. 経済全体の基礎的な仕組みがわかるようになる。						
授業概要	経済理論全体の基礎的な考え方を身に付け、マクロ経済学の論理と方法を理解する。 経済主体の最適化行動と市場のメカニズムを理解し、ミクロ経済学の論理を理解する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験結果と平常点をもって評価を行う。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	古沢泰治、塩路悦朗「ベーシック経済学：次につながる基礎固め」（有斐閣）						

教育科目	地域経済プロジェクト・演習 A		教育内容	地域経済プロジェクト・演習 A		演習	
学 科 開講学年	地域経済学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	30 コマ	単位数	2 単位
授業目標	15. 地域経済における課題、問題点を発見する 16. 企画・計画に沿ったプロジェクトを実行する力を養う。						
授業概要	地域の抱える課題を発見し解決策となるプロジェクトを考える。 グループワークで自ら発言や行動をする主体性を身に着ける。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期 回・後期 回		
	評定方法 グループワークの取り組みと平常点をもって評価を行う。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	自主作成プリントなど						

教育科目	地域経済演習 I		教育内容	地域経済演習 I			演習
学 科 開講学年	地域経済学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	21 コマ	単位数	1 単位
授業目標	17. 地域経済分析の手法を身に着ける 18. 山陰の産業、観光について理解を深める						
授業概要	公的機関の資料を用いて経済分析を行い、レポートの作成をする。 グループワークを通して協調性を身に着ける。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	3回・後期	回
	評定方法 レポートの内容とグループ発表、平常点をもって判断する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	自主作成プリントなど						

教育科目	簿記Ⅱ		教育内容	簿記Ⅱ			講義
学 科 開講学年	地域経済学科 1年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	46 コマ	単位数	3 単位
授業目標	19. 大規模株式会社の知識を習得する。 20. 日商簿記 3 級試験程度の問題を解けるようになる。						
授業概要	テキストを中心に基礎から簿記の知識を学んでいく。 小テストも行いながら、習得度の確認をしていく。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	なし		なし			
	評定方法 定期試験結果と平常点 (検定試験結果を含む) をもって評価を行う。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	桑原知之「日商簿記 3 級にとおるテキスト・日商簿記 3 級にとおるトレーニング」 (ネットスクール)						

教育科目	簿記Ⅲ		教育内容	簿記Ⅲ			講義
学 科 開講学年	地域経済学科 1年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	31 コマ	単位数	2 単位
授業目標	21. 原価計算の基礎を学ぶ。 22. 全経簿記1級（原価計算・工業簿記）程度の問題が解けるようになる。						
授業概要	テキストを中心に基礎から簿記についての知識を学んでいく。 小テストも行いながら、習得度の確認をして行く。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
評定方法	評定方法 定期試験結果と平常点をもって評価を行う。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	桑原知之「全経簿記能力検定試験公式テキスト1級原価計算・工業簿記」（ネットスクール） 桑原知之「全経簿記能力検定試験公式問題集1級原価計算・工業簿記」（ネットスクール）						

教育科目	金融資産運用		教育内容	金融資産運用			講義
学 科 開講学年	地域経済学科 1年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	23. 債権、株式、投資信託の知識を習得する。 24. ファイナンシャルプランナー技能士検定試験の問題が解けるようになる。						
授業概要	テキストを中心に、債券、株式、投資信託等の知識を学んでいく。 問題集などを解くことで、習得度を確認していく。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
評定方法	評定方法 定期試験結果と出席率をもって評価を行う。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	ファイナンシャルバンクインスティテュート「うかる FP3 級王道テキスト 2022-2023」 （日本経済新聞出版社） ファイナンシャルバンクインスティテュート「うかる FP3 級王道問題集 2022-2023」 （日本経済新聞出版社）						

教育科目	不動産		教育内容	不動産			講義
学 科 開講学年	地域経済学科 1年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	<p>25. 不動産取引、不動産登記等の知識を習得する。</p> <p>26. ファイナンシャルプランナー技能士検定試験の問題が解けるようになる。</p>						
授業概要	<p>テキストを中心に、不動産取引、不動産登記等の知識を学んでいく。</p> <p>問題集を解くことで、習得度を確認していく。</p>						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
評定方法	<p>評定方法</p> <p>定期試験結果と平常点をもって評価を行う。</p>						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	<p>実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する</p> <p>不動産業を通じて資産運用の実務経験</p> <p>実務経験を活かし様々な資産運用・税金面での相談対応等を教授</p>						
使用 テキスト等	<p>ファイナンシャルバンクインスティテュート「うかる FP3 級王道テキスト 2022-2023」 （日本経済新聞出版社）</p> <p>ファイナンシャルバンクインスティテュート「うかる FP3 級王道問題集 2022-2023」 （日本経済新聞出版社）</p>						

教育科目	マーケティング論Ⅱ		教育内容	マーケティング論Ⅱ			講義
学 科 開講学年	地域経済学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	27. マーケティングの基礎知識を習得する。 28. 実務の現場で活かせるマーケティング方法を学ぶ。						
授業概要	テキストを中心に基礎からマーケティングの知識を身に着ける グループワーク等を通じて実務的な手法を学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験結果と平常点をもって評価を行う。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	安原 智樹「この1冊ですべてわかる 新版 マーケティングの基本」(日本実業出版社)						

教育科目	地域経済プロジェクト・演習 B		教育内容	地域経済プロジェクト・演習 B		演習
学 科 開講学年	地域経済学科 1年	開講期	前期・後期		授業コマ数 38 コマ	単位数 2 単位
授業目標	<p>29. 地域経済におけるプロジェクトの運営法(応用)を習得する。</p> <p>30. 企画・計画に沿ったプロジェクトを実行する力を高める。</p>					
授業概要	<p>2年生の指示に従って、正確で素早い行動が出来るように運営の応用力を学ぶ。</p> <p>グループワークで自ら発言や行動していけるように運営に参加する応用力を学ぶ。</p>					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期		その他(レポートなど)	
	小テスト	前期	回・後期	回	前期 回・後期 1回	
	<p>評定方法</p> <p>レポートの内容とプレゼン発表、平常点をもって評価する。</p>					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する					
使用 テキスト等	自主作成プリントなど					

教育科目	地域経済演習Ⅱ		教育内容	地域経済演習Ⅱ			演習
学 科 開講学年	地域経済学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	30 コマ	単位数	2 単位
授業目標	31. 経済データを正しく判断できる能力を身に付ける。 32. 経営者や企業の考えに触れることで幅広い知見を獲得する						
授業概要	1. 経済データを用いて調べ学習を行い、発表を行う 2. 地元企業を招いて講演会を開催する						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	1回
	評定方法 レポートの結果とグループワークの様子、平常点をもって評価を行う。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	自主作成プリント等						

教育科目	企業体験実習 I		教育内容	企業体験実習 I			実習
学 科 開講学年	地域経済学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	17 コマ	単位数	1 単位
授業目標	3. 企業での実戦の中で、学んできたことを活かす。 4. 自分の能力を知り、さらなる高みを目指す。						
授業概要	インターンシップ 実際の場で、現場のプロから指導を受ける。(事前指導1コマ、事後指導1コマを含む)						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 企業からの評価と出席率による。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する 企業等の担当者の実務経験 企業等の担当者が実務経験を活かして職業観や職務内容を教授						
使用 テキスト等	自主作成プリントなど						

教育科目	ビジネススキル I		教育内容	ビジネススキル I			講義
学 科 開講学年	地域経済学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	5. ビジネスマナーを習得する。 6. ビジネス能力検定ジョブパス 3 級を目指す。						
授業概要	職業人として必要なコミュニケーションの基本及び仕事の実戦について学ぶ。また、ビジネス能力検定 3 級の練習問題や過去問題を通して理解を深める。						
成績評価 方法	定期テスト		前期	後期	その他 (レポートなど)		
	小テスト		前期 2 回	後期	回	前期 回・後期 回	
	評定方法 定期試験結果、小テスト、出席率をもって評価を行う。						

教育科目	キャリア演習 I		教育内容	キャリア演習 I ・ 人間性と社会性 I			演習
学 科 開講学年	地域経済学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	17 コマ	単位数	2 単位
授業目標	7. 履歴書の書き方(自己分析・企業分析含む)理解 8. 就職活動に必要な知識・マナーの習得 9. 採用試験に向けた面接の基本を習得 10. 就職活動早期取り組みへの意識付け 11. 職業生活を営む上で必要な態度やコミュニケーションの能力を培う。 12. 社会の中での自己の在り方生き方について認識させ、働くことの意識付けや豊かな社会を築くために積極的に寄与する意欲や態度を養う。						
授業概要	履歴書指導により自己分析を行い、合同企業・法人ガイダンスにより企業分析及び就職活動への意識を向ける。また、ガイダンスに向けた身だしなみ、就職活動に必要な基礎知識を身に着ける。学生と社会人で異なるコミュニケーション能力を知り、事例を通じてビジネスにおけるコミュニケーションスキルを理解する。 社会性とは何か、事例を通じて適応的人間関係を構築できる態度について考える。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 提出物、報告書等及び取り組み状況により判定。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	自主作成プリント等						

教育科目	商業・社会 I		教育内容	新入生研修 I ・ 総合体育 I 企画マネジメント I ・ 総合体育 II		演習
学 科 開講学年	地域経済学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	21 コマ	単位数 2 単位
授業目標	13. マナーの大切さを理解し、集団行動としての協調性を養う。 14. 日頃の授業の成果を発揮し、今後の活動に活かすことができる。 15. 自ら率先する力を養う。					
授業概要	新入生研修、スポーツ大会、学園祭など					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1回・後期 1回
	評定方法 出席率及び取り組み状況の評価等の平常点をもって評価する。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する					
使用 テキスト等	自主作成プリントなど					

教育科目	実践ボランティア ※自由選択科目		教育内容	ボランティア活動			演習
学 科 開講学年	地域経済学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	8 コマ	単位数	1 単位
授業目標	16. ボランティアを通して、社会や地域のもつ教育力を有効に活用し、奉仕の精神とコミュニケーション能力、主体性を兼ね備えた人材の育成を図り、社会人としての心構えを育む。						
授業概要	事前指導・事後指導に参加する。(1コマ) 地域社会や企業・施設等でボランティア活動を行う。(7コマ)						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 報告書、ボランティア実施先の参加証明、事後指導の提出物により判定。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等							

教育科目	MOS 演習 I		教育内容	MOS 演習 I			演習
学 科 開講学年	地域経済学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	17. 基本的なパソコン機能を、実務で使いこなせる能力を習得する。 18. Excel の基本操作を理解し、意図した内容の表やグラフを作成できる。						
授業概要	基本的なパソコン操作を学ぶ。 Excel の基本操作を理解し、意図した内容の表やグラフを作成する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1 回・後期	回
	評定方法 平常点と出席率をもって評価を行う。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	本郷 PC 塾「30 レッスンで合格!MicrosoftOffice2016」(技術評論者)						

教育科目	MOS 演習Ⅱ		教育内容	MOS 演習Ⅱ			演習
学 科 開講学年	地域経済学科 1年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	19. 基本的なパソコン機能を、実務で使いこなしこなせる能力を習得する。 20. PowerPoint の基本操作を理解し、意図した内容のプレゼン資料を作る。						
授業概要	基本的なパソコン操作を学ぶ。 パワーポイントの活用方法を学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	1 回
	評定方法 平常点と出席率をもって評価を行う。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	本郷 PC 塾「30 レッスンで合格!Microsoft Office 2016」(技術評論者)						

教育科目	一般教養 I		教育内容	一般教養 I			講義
学 科 開講学年	地域経済学科 1年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	18 コマ	単位数	1 単位
授業目標	21. 就職試験の SPI 試験に対応できる能力(基礎)を身につける。 22. 一般的な知識を習得する。						
授業概要	SPI 試験問題を行う。 過去の試験結果を基にした対策を行う。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験結果と平常点をもって評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	SPI 対策研究所「大手・人気企業突破 SPI 問題集」(高嶋書店)						